

# 分苑たより

## なごみ

大本  
名古屋分苑

### 分苑長

#### 睦月 月次祭挨拶

サルートン皆様こんにちは  
早くも新年より三週間が過ぎ  
睦月の月次祭を皆様方と執り  
行わせて頂き誠にありがとうございます  
でございます。

新年祭には若い人達も参拝  
に来て頂き雰囲気明るくな  
ったように思いました。

元日の新年祭の後、新年会  
が終わり帰途に立つ時、私た  
ちは携帯電話の地震警報で、  
何処かで地震が発生した事し  
か分からず、地下鉄・名鉄と  
も地震の影響で三十分位発着  
が遅れており、帰宅してニュ  
ースで初めて能登半島で地震  
が発生した事を知りました。

また翌日には羽田空港で、  
民間機と海上保安庁機との衝  
突で炎上する旅客機の乗務  
員・乗客の方は全員救助さ  
れました。しかし海上保安庁

機の方は五名の方が亡くなら  
れる事故が発生いたしました。  
大神様へ大難を小難に小難  
を無難にとお祈りするだけ  
です。

能登半島地震鎮静復興祈願  
祝詞が本部より信徒専用ペー  
ジに掲載されており、名古屋  
分苑でも朝拝時に奏上させて  
頂いております。

節分人型活動を展開されて  
おられる方は、二月三日土曜  
日に、久しぶりの団体参拝バ  
スが十時には出発いたします  
ので、それまでに分苑へ必ず  
届けて頂きますようお願い  
いたします。

またこの日には、分苑の月  
始祭と節分大祭遥拝祭を行  
います。節分大祭に参拝されな  
い方は是非分苑で、ご参拝を  
お願いいたします。

二月の行事としましては、  
十一日十四時から会計監査を  
お願いして、月次祭の後で、

令和五年度の決算・冠婚葬祭  
の規約改定について、総代会  
を開催いたします。事務所の  
棚に総代会の案内を入れてい  
ますので宜しくお願い致しま  
す。

健康は皆様たち個人で管理  
して頂きまして今年の分苑行  
事に、参加していただくよう  
に祈念いたします。

玉鑑の一節で鏡餅という文  
章があります。

お正月のお重餅は日月夫婦に  
たとえたものである。餅の鑑  
ということ、鑑は天照皇大  
神の御神体である。すなわち、  
よき月日を送らせてもらうよ  
うにとの意味である。今はい  
ろいろの美味しいものがある  
が、昔は餅と酒くらいの御馳  
走はなかったから、一番御馳  
走として供えたものである。

と書かれてありました。  
愛知県では、一月十七日新型  
コロナが第十波になったと報  
道されました。

どうか、皆様におかれまして  
は、体調管理に気を付けて頂  
き、先ずは、節分大祭参拝さ

せて頂きましょう。

本日の参拝誠にありがとうございます  
ございました。コーランダンコ  
ン。

### 行事報告

#### ●新年祭

一月一日(日)

参拝者 四十七名

斎主 飯田 和彦

祭員 妹尾 正治

祭員 日比 達朗

祭員 畠山 茂

典礼 小林 清人

伶人 飯田 直美

進行 青山 将士

併せて、成人式祝詞が奏上さ  
れ、祭典後に本部直心会から  
の記念品・分苑からのお祝い  
の品が贈呈された。新成人の  
皆様おめでとうございます。

新成人

神ノ倉分所 澤田 真依  
神ノ倉分所 久野 真輝



● 月次祭

一月二十一日(日)

- 参拝者 三十名
- 斎主 近藤 哲史
- 祭員 妹尾 正治
- 祭員 畠山 茂
- 祭員 日比 達朗
- 裏方 青山 将士
- 典礼 小林 清人
- 伶人 飯田 直美
- 伶人 佐古 美鈴
- 伶人 澤田 淳
- 伶人 長谷川美枝
- 進行 伊藤久仁男

行事予定

二月十八日(日)

- 月次祭 午前十時半より
- 総代会(令和五年度決算報告)
- 三月二日(土)
- 月始祭 午後一時半より
- 三月二日(土)・三日(日)
- 東海サミット(静岡分苑)

じいじの道草雑話

【運転マナー】

特任宣伝使 妹尾正治



忍び草

若葉支部 三丸倭公子 毘女

享年 八十五歳

令和六年一月十九日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

近年運転マナーがすこぶる悪くなつて来ている様に感じる。じいじは愛知県の西の外れに住んでいるので、名古屋への行き帰りには幾つもの川を越えなければいけない。橋の上では必ず渋滞が起きる、通勤時間帯は庄内川を渡りきるのに十五分は当たり前だ。分苑の日直を終えて帰宅するときは常に渋滞に巻き込まれている。原因は三車線の道路が橋の上では一車線になるからだ。一番右の車線が橋の上の車線になるので、じいじは二信号前あたりから右車線に入るのだが、その時点で橋までは二

百メートル程車の列が出来ている。それなのに中央車線を何台もスイスイと通り抜けていき、橋の手前でウインカーを出して堂々と割り込んでくる「もう十分も並んでいるのに！」と思わず怒りがこみ上げてきてしまう。やつと橋の手前にたどり着いた時、左から赤い軽自動車が出た時、左から赤い軽自動車が出た時、ウインカーを出している、見れば若い女の子だ。『もうしようがないな、男だったから入れてやらないぞ！』とそこは我慢したもの、当たり前前の顔で割り込んできた。『あなた！若いつもりでもすぐに「このくそババァ！」と言われるぞ！』とつぶやいて、赤い車の後をついていく。横着な車にイラついた時は『このブスのデブの禿げ頭が！』とか『もう漏れそうなの、いそいでトイレに行きなさい！』と心で叫ぶとチョツトすつきりする。これが事故を起こさない為のじいじの処世術である。

エスペラントの学習

瓜生秀明

Bonan tagon

私がエスペラントを学習するきっかけは、20代前半の青年部時代にEPA支部設立の募集があり、若さに任せて軽い気持ちで名古屋に2つの支部を作ったのが始まりです。

その頃は青年部活動の一環として、名古屋分苑に本部講師をお招きして研修会を開催したり、本部の越年研修会やザメンホフ祭に参加していました。ザメンホフ祭では名古屋の有志を誘ってエスペラントで鉄腕アトムの合唱、霊界物語の役割拝読などをおこなった記憶があります。韓国への青年部海外交流団にも参加させていただきました。どちらかといえ

ば、自ら学習するというよりは、いろいろな計画を立てて仲間を集めることに中心があったように思います。エスペラント歴が長いだけで自分自身の実力は上達せず反省しています。

現在は会員も少なくなり支部も1つに統合されましたが、継続することが大切との思いで月に2回、2時間ほど学習会を行っています。参加者は4名で内1名は未信徒です。講師は2004年に愛知県犬山市で日本エスペラント大会が開催された時に、名古屋支部の数名がお手伝いしたことが縁となり、名古屋エスペラントセンターの方をお願いしています。皆さんも一緒に学習しませんか。

「継続は力なり」のことわざのように、少しずつでも前に進めるように努力したいと思います。